

戦間期③「第二次世界大戦までの世界と日本」

国際協調の崩壊 **C**

 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい

あ 1929年、株価の暴落をきっかけに不景気が世界に広がった。ドイツや、イタリアは軍事力で領土を拡大して混乱を乗り切ろうとし、第二次世界大戦が始まった。日本も、大陸を支配することで不景気を切り抜けようとして、日中戦争そして太平洋戦争へ突入した。日本は、すべての人や物を戦争に動員する体制をとったが、激しい本土空襲、沖縄での地上戦、原子爆弾の投下の末、ポツダム宣言を受け入れて戦争は終わった。

(1) 下線あに対して、次の各国がとった政策として最も適当なものをあとから1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① イギリス ② フランス ③ ドイツ

ア 五か年計画 イ ブロック経済 ウ ファシズム エ ニューディール政策

①	[1]	②	[2]	③	[3]
---	-----	---	-----	---	-----

(2) 下線いで1922年に政権をにぎり、独裁を行った人物の名を答えなさい。

[4]

2. 次の問いに答えなさい。

次の資料は、アメリカのルーズベルト大統領が、ラジオ放送を通して、ニューディール政策を説明している様子である。ニューディール政策において、政府が雇用を増やすために行ったのはどのようなことか、答えなさい。

資料



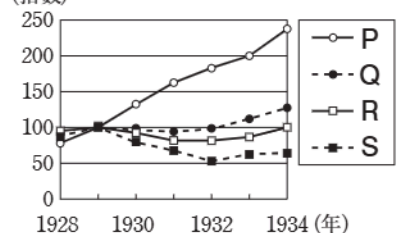
[5]

3. 次の問いに答えなさい。

右のグラフのP～Sは世界恐慌前後のアメリカ、イギリス、ソ連、日本のいずれかの鉱工業生産指数の推移を示している。このうちPはどの国を示しているか。その国名を書け。

[6]

グラフ 国別の鉱工業生産指数の推移 (指数)



(注) 1929年における各国の鉱工業生産額を100としたときの指数で表している。

(「本邦主要経済統計」から作成)